

長野県内の市町村における 男女共同参画の好事例集

「信州未来共創戦略～みんなでつくる2050年のNAGANO～」において、
明るい未来の実現に向けた取組の方向性として「性別による固定的役割や
格差をなくそう」が掲げられました。

そこで、地域における取組を推進するため、県内市町村にて実施された
好事例をまとめました。

担 当：長野県県民文化部人権・男女共同参画課

連絡先：026-235-7102 / n-danjo@pref.nagano.lg.jp

長野県飯田市

若い世代へのライフデザインセミナー事業

令和6年度
実施事業

(事業の様子)

(事業目的)

性別による固定的役割分担意識の解消には、若い世代からの学びが有効であることから、社会に出る前の若者が、男女共同参画の意義を具体的な事例を通して学び、かつ、自分の将来を想像する機会をつくる。

(事業内容)

飯田市内の4つの高校を訪問し、近い将来訪れるかもしれない『子育て』に焦点を当て、男女が共に助け合う重要性、子育てへの男性参画や市の子育て環境についての講義や体験を授業の一環として実施。

(事業効果・成果等)

○受講生徒 550名

○受講生徒からの声

- ・パパ育休で、子供の成長が見られるだけではなく、そのために仕事を頑張ろうと思えたなど、たくさんのプラスの効果があることが分かりとても貴重なお話だった。
- ・家族全員で支え合っている姿が素敵だと思った。
- ・将来がとても楽しみになった。

○学校の先生からの声

- ・子育てに対してのネガティブが払拭された。

(事業実施に当たり工夫した点)

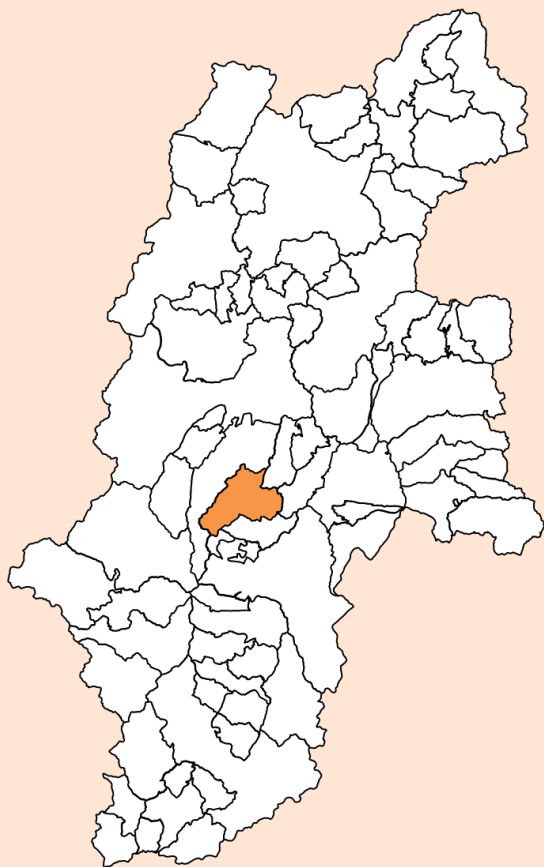
- ・男性育休の身近なロールモデルとして、飯田市役所の育児休業を取得した男性職員をゲストとして招き、リアルな体験談を聞く機会を設けた。夫婦で家事や育児を協力することや、育児の大変さと同時に喜びや豊かさを伝えた。
- ・妊娠シミュレーターでの妊婦体験や赤ちゃん人形での抱っこ体験を取り入れた。
- ・地域子育て支援拠点で活躍されている現場の保育士の講義を取り入れた。



担 当：市民協働環境部
共生・協働推進課
多様性社会推進係
連絡先：0265-22-4560

danjo@city.iida.lg.jp

長野県上伊那郡 辰野町



地区役員等への女性参画推進のための意見交換会

令和6年度
実施事業

（事業目的）

男女共同参画のまちづくりを進めている中、町内会等への女性参画、登用が進んでいない現状を踏まえ、区長会と女性団体連合会役員との情報交換を行い、町内会等への参画を促す。

（事業内容）

辰野町内17区の区長からなる区長会と辰野町女性団体連合会の役員が意見交換を実施。

（事業効果・成果等）

○参加者 区長会から17名
辰野町女性団体連合会から13名

○参加者からの声

- ・役員は“男”との決まりはない。
- ・女性が役員を担うことを拒む理由はない。
- ・男女共同参画賛成である。女性区長の誕生を楽しみにしている。
- ・役員選出の際は女性団体からも人材を推薦していただきたい。
- ・こうした情報交換の場を定期的に設けてみてはどうか。

担 当：総務課
連絡先：0266-41-1111
(内線2202)
soumu@town.tatsuno.lg.jp

（事業実施に当たり工夫した点）

- ・双方が出席しやすい曜日や時間帯を設定した。
- ・予め質問内容等を把握して当日円滑に質疑応答ができるようにした。
- ・町議会の女性議員もオブザーバーとして参加を依頼した。

長野県木曽郡 木曽町

生理への理解促進事業

令和5年度
実施事業

(事業の様子)

(事業目的)

生理や女性ホルモンの働きを男女ともに学ぶことで、家庭や地域、仕事場での生理との付き合い方を考える機会を提供する。

(事業内容)

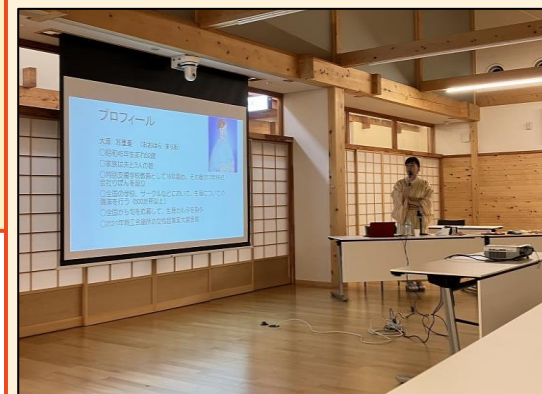
令和5年度きそまち男女共同参画社会推進会議総会にあわせ、会員向けの講演会「みんなが生理を理解するとこんなに世の中が変わる」を開催。また同年度に町内各小中学校に「生理カルタ」を寄贈。
※本事業はきそまち男女共同参画社会推進会議にて実施

(事業効果・成果等)

- ①講演会 参加者 19名
- ②生理カルタ寄贈 7校（小学校4校、中学校3校）
生理カルタ寄贈後、小学校（1校）にて会員2名と児童10名がカルタ体験
- 参加者（会員）からの声
 - ・生理用品についてなど、知らなかったことばかりで、もっと早く聞きたかった。

(事業実施に当たり工夫した点)

- ・生理カルタを製作・販売した株式会社りぼん代表からカルタを作った経緯や寄せられた声を伺った。
- ・小学校1校へ赴き、カルタを通して児童が生理について話す機会を提供した。



担当：企画財政課
連絡先：0264-22-4287
seisaku@town.kiso.lg.jp

長野県東筑摩郡 筑北村

女性視点による防災力向上強化事業

令和6年度
実施事業

(事業目的)

いつ発生するかわからない大規模災害に備え、女性の視点を反映した防災体制を強化するとともに、防災分野への女性の参画を推進する契機とする。

(事業内容)

- ①消防庁「防災意識向上プロジェクト」語り部による『女性視点による防災力向上強化講演会』
- ②村防災体制に関する『意見交換会』

(事業効果・成果等)

- ①講演会参加者 82名（村内の住民・各団体・各種委員・村職員等）
○参加者からの声
 - ・自助・共助の重要性に加えて、女性の参画・女性視点によるきめ細やかな対応が必要不可欠と理解でき、今後は積極的に取り組みたい。
- ②意見交換会参加者 51名
 - ・大地震発災後をイメージして女性視点による困りごとと対応策について小グループで意見交換を行い、村の避難所環境や備蓄品の問題点、課題を明らかにすることができた。

(事業実施に当たり工夫した点)

- ・参加者が高いモチベーションで意見交換を行うため、講演会と意見交換会を同日開催とした。
- ・意見交換会で出された意見は、担当課で整理を行い、後日、村の男女共同参画担当、保健師、被災地避難所支援活動を経験した職員等と共有し、令和7年度以降の村の取組について打合せをした。

担 当：総務課
連絡先：0263-66-2111
soumu@vill.chikuhoku.lg.jp

令和6年度女性視点による防災力向上強化事業 防 災 講 演 会

いつ発生するかわからない大規模災害に備え、女性の視点を反映した防災体制を強化するとともに、防災分野への女性の参画を推進することを目的に開催します。

日時 令和6年11月25日(月) 午後2時から
場所 筑北村本城農村環境改善センター 多目的ホール

プログラム

第一部 午後2時～午後3時30分 防災講演会

講師 消防庁防災意識向上プロジェクト語り部

平澤 つぎ子 氏

講師の紹介

東日本大震災時、旭市の避難所に於いて、避難所運営の補助及び避難者の食事面、環境衛生面、その他の支援(心のケア)活動を実施。現在も、実際に支援したことを教訓とし、女性目線・福祉目線で防災教室等で前述の活動を継続している。加えて旭市赤十字奉仕団副委員長、日本赤十字社千歳県支部指導講師、旭市社会福祉協議会理事としても活躍中。

第二部 午後3時45分～午後4時45分 意見交換会

村の備蓄品や避難所運営マニュアルを紹介し、女性視点での「気づき、指摘、改善」等について意見交換を行います。

頂いたご意見を踏まえて、備蓄品や指定避難所の強化・充実を図っていきます。

(事業の様子)

